

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社ルピナス新潟	事業所名	ケアステーションるびなす
所在地	(〒950-0926) 新潟市中央区高志2丁目20番10号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> ・居心地の良さと居場所の良さを提供する。 ・居心地の良さと家族、居場所の良さは家～ご家族の代わりに居心地の良さと居場所の良さを提供する。 ・一人暮らしでも、高齢世帯でも、認知症でも、がん終末期でも、住み慣れた地域で最期を生きることができる。 ・そのためには、医療、介護、福祉、行政、住民の連携をはかり、ご利用者、仲間そして自らを大切にします。
--

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 2 月 16 日	従業者等自己評価 実施人数	(12) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2023 年 3 月 22 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (4) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 (____) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 (____) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (2) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (____) 人 <input type="checkbox"/> その他 (____) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	研修機会の確保	感染拡大予防の為、法人研修は少人数ずつ数回に分けて行い、講師による内部研修はオンラインで行った。外部研修は、回数は少ないが参加する事ができた。	感染状況、予防に配慮し、研修の機会を設けた。受講後の伝達がうまく行えていない。
	情報共有の方法の振り返り、評価	記録類で情報共有している。その日に周知したい事を書いた用紙を皆が見て、把握する方法はうまく行えている。	記録類からの情報把握はできている。以前の情報を、記録を遡って調べるのが難しく、職員個々の記録や記憶に頼り確認し合う事がある。
	働きやすい環境の整備	職員個々の事情に合わせ、勤務が配慮されている。	個々の事情に合わせた勤務で互いに協力し合っている。
	新人職員への指導方法の統一	新人職員の混乱を防ぐ為に、できるだけ同じ職員が教えるようにしている。	新型コロナ感染、濃厚接触者、体調不良があり、予定通りに行かなかった。
	職員の安全確保、対策の検討	新型コロナ感染予防の為の注意喚起、必要な場合は速やかに抗原検査を行った。	感染予防の為、引き続き気を抜かず、十分注意していく。
		利用者も職員も安全に介助できるよう、移動介助、入浴介助の方法を検討した。	利用者も職員も安全確保できるよう、今後も検討、対応していく。
	災害などの緊急時の具体的な対応方針の共有、事業継続計画の作成、備蓄品の確認・補充	災害時の対応を決め、避難訓練の実施、備蓄は行っているが、災害対策はまだ不足している。	引き続き、災害対策について、検討・計画が必要。

Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者の状況変化に応じた計画の変更	状況変化に応じ、通い、泊まり、訪問、訪問看護を柔軟に組み合わせ支援している。個別援助内容は、担当者が計画を変更する。	状況の変化が著しかったり支援方法の変更が多いと計画書の変更が追いつかないが、状況の変化に合わせてその都度利用方法・介助方法など、検討し変更している。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	多機関・多職種との連携の継続	事業所内の看護と介護は記録類や口頭にて情報交換し連携している。病状の変化に応じた対応、処置の変更など、速やかに伝達されている。 入退院の前後、受診時、訪問診療時など、医師、看護師、相談員、薬剤師等と情報共有し連携している。 その他、訪問マッサージ、訪問美容、地域包括支援センター、福祉用具業者、地域の方、配達業者、美容院など、必要な時に連携している。	今後も、関係者・関係機関と必要な情報共有を行い連携し、利用者の在宅生活を支えていきたい。 包括も近隣にある、相談しやすい窓口機関として心強い存在でありがたいです。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域との情報共有、協力、交流	地域の方が畑作りをして下さり、さつまい芋を収穫できた。 自治会役員の方より、避難訓練に参加協力して頂いた。 自治会長の方が、何かあると電話や来所して下さい、地域との情報交換ができています。 地域の方が一人暮らしお宅の草取り、雪かき、雨漏りの対処の協力をして下さった。 地域の草取りに職員が参加している。	畑の収穫を楽しみ、皆で味わう事ができた。 コロナ禍で、地域の行事や集まりはできず、交流が難しい。 地域の方が率先して色々と協力して下さいいつも助かり感謝している。 これまでの地域の方々との関係作りの賜物だと思う。 これからも連携を継続して頂きたいと思えます。

				<p>るびなすの畑の野菜作りや収穫時は、職員と一緒に町内の勇士が農作業（草取り）に健康な汗を流す場としたい。</p> <p>コロナ禍で大変な年であった。るびなす祭は、町内の子供達も楽しみにしていたが、本年はまた皆で楽しい祭りとして、町内の「健康と安心の中核、るびなす」として、町の人が気軽に訪れて、一緒に話したり、談笑する楽しい場所となるよう、皆で努力したい。</p>
		外出の機会	<p>季節ごとに行事計画を立て、可能な時は外出した。</p> <p>その他、天候の良い日は短時間でも散歩など、外の空気を吸ってもらうようにした。</p>	<p>人手不足や天候不良により外出が難しい事が多いが、天候を見て少しでも外へ出る機会を作るよう努めている。</p> <p>感染予防のため、人が多い所には行けなかった。</p>
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		接遇の振り返り, 適切な接遇	<p>接遇委員会より、接遇について個々で振り返り目標を立てて行動する取り組みを行った。</p>	<p>接遇について個々が考え、行動する事ができた。</p>
		利用者様の思い・希望の汲み取り, 検討, 実施	<p>日頃から、思いや希望を汲み取るよう心掛けた。</p>	<p>思いや希望の汲み取りを心掛けているが、検討や実施まで至っていない。</p>

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大を予防しながら研修の機会を確保した。 ・中長期的な育成計画はない。 ・処置内容については、しっかり更新され確認しやすくなった。 ・安全確保のため、環境や介助方法の検討をした。 ・災害時のサービス提供継続に関して検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の機会の確保し、他職員への伝達を行う。 ・職員個々の目標を設定し、達成度合いを確認する。 ・情報の共有方法について、随時振り返り、検討する。 ・ご利用者と職員の安全確保について日頃より配慮し、注意点を話し合い喚起していく。 ・災害対策について話し合い、訓練していく。 	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職，看護職，関係機関が連携し、在宅での生活を支えることができている。 ・ご利用者の状況変化に応じ、利用方法や支援方法を早期に検討し柔軟な対応に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状況変化に応じ、利用方法や支援方法は早期に検討し対応する。状況変化が落ち着いた時に、計画書を変更する。
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の入退院，施設の入退所の際は、相談員や看護師と情報共有を密に行い、希望の生活が送れるよう支援している。 ・休日夜間を含め、管理者を通じ医療職，医療機関へ繋ぎ、急変時に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多機関・多職種と連携し、希望の在宅生活が送れるよう支援する。
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大予防の為、地域との交流は難しいが、地域の方から協力いただく事や、地域関係者との情報共有，相談等、随時行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との情報共有，協力，交流を行い、住み慣れた地域で希望する生活が送れるよう支援する。
<p>III. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護で連携し、意向に沿い、自宅でも事業所でも看取りができるよう支援している。 ・日頃から、思いや希望を汲み取るよう心掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な接遇を心掛け、振り返りを行う。 ・外出行事，散歩，ドライブなど、天気の良い日は積極的に外に出る。 ・今まで関わりながら汲み取った思いや希望の情報を個別にまとめ、話し合う。希望の汲み取りが難しいご利用者は、センター方式やひもときシートを利用しみんなで考える。ケースカンファレンスにて話し合う。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
② 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			るびなすの「強み」を生かした事運営を今後も続けて頂きたいと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○		身近な目標設定を立て、達成できたか等の確認をしてみたかどうか？ 相手により違いもあり、厳しい仕事で大変と思いますが、経験者が若手を新設に育てていくように期待します。 地域の拠点であり、集会やお茶会で情報交換しています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている				○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<p>どこの職場や学校等でも新型コロナの感染は、大変であったが、皆で注意喚起し、拡大予防に努めたるびなす職員は立派であった。(知る人は知る)</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			<p>情報の共有、意見交換などの機会、行い方など、業務の都合と合わせ、随時検討していただきたいと思います。</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		[具体的な状況・取組内容]					
		勤務希望，有給休暇取得，個々の事情により勤務の配慮がされている。 新型コロナの感染状況により、予防・対処方法などを注意喚起し、必要な場合は速やかに抗原検査を実施し感染予防に努めた。 新人職員へはできるだけ同じ職員がつくよう配慮しているが、コロナの影響で欠勤が出て予定通りに行かないことがある。					
		[具体的な状況・取組内容]					
		各会議と各記録類により情報共有している。処置内容は、変更時に忘れずに変更し、確認しやすくなった。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
② 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			全国各地で、凶悪強盗事件が続発している。他山の石とし、1人1人が日頃の業務の中で配慮することが大切だと思う。機会あるごとにミーティング、注意点を話し合うことで喚起する（防犯、防火、交通安全、振り込め詐欺）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ヒヤリハットや事故があった際は報告書にて情報共有、早急に対応策を検討し実施し、ミーティングで検討や確認をしている。利用者の安全が保たれ、介助する職員も安全に働けるよう、環境や介助方法をその都度検討した。</p>					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			必要に応じてリストの更新や災害時の対応について見直していくと良いと思います。日頃の防災対策を研究し、緊急時に利用者の安全を図れるよう「話し合いと訓練」が大切である。消防訓練は、大切であり、訓練期間・やり方の変更も考えたらどうか。（安全第一）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>災害時の対応や緊急時の連絡方法は目の付く所に掲示している。地域の方の協力を得て、消防訓練を行っている。災害時のサービス提供継続に関して検討が必要。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>個々の暮らし方や、介護者の状況に合わせ、柔軟にサービスを提供している。予定外の泊まり利用、送迎時間の変更、緊急時の訪問・通院に対応している。また、電話・テレビ電話や訪問により、自宅でも安心して生活できるよう支援している。</p>					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>各記録や口頭で、情報共有されている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○				<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>利用者・家族の意向に沿って、目標の達成に向けた計画を個別に作成している。</p>					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>心身機能を維持し、希望する生活が続けられるよう、ご本人ができる事は続けていけるような計画と支援を心掛けている。</p>				<p>困りごとに対してのサービス利用だけでなく、本人や家族がどうなりたいのか、という目標（希望）に近づけるような支援を検討して頂けると良いと思います。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている			○			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>介護職は生活面、看護職は医療面を担当し、役割分担し連携できている。</p>					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>カンファレンスの時と、何かあればその都度、情報共有・相談を行い、記録や口頭にて職員へ周知・共有している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている		○			今後も看護職と介護職がお互 いの強みを生かし、連携して支 援をして頂きたいと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割の 1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説 明し、利用者等の理解を得て いる		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 計画の内容や生活での留意点を説明し、理解を得るよう努めている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			在宅介護、看護について、実際に指導や相談できる機会は重要だと思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療職より適宜説明し、理解を得るようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>希望や意向をできるだけ把握し、計画に反映しサービス提供するよう努めている。</p>					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>できるだけ在宅生活を送れるよう、状況に応じて相談・検討し支援している。</p>				<p>事前に予想される将来の状況での対応について、話し合いや、ある程度決めておけると良いと思います。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容]					
		適切な時期に主治医より現況や今後の予測の説明があり、ご利用者・ご家族の意向を踏まえ方針を話し合い、内容は記録により情報共有している。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
		病院・施設等と、電話、書面、面談、退院前カンファレンスにより情報共有し、円滑に希望の在宅生活へ移行できるよう連携し支援している。				病院や施設から在宅生活に変更になる際にスムーズに移行できるように連携を密にとり、計画を立てて実行して頂きたいと思います。	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			<p>毎回開催について連絡をいただき、開催でない場合は資料をいただいております。</p> <p>新型コロナ感染はようやく先が見えつつあると思うが、油断は禁物、と思う。</p> <p>包括的サポートについて関係機関等と連携を図りたい。</p>	<p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		町内一斉清掃には、先生、職員が参加してくれて、自治会では感謝している。 施設内の畑の草取りや野菜作りは継続していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				訪問看護を希望している方がいた場合に事業所様の候補として情報提供を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	○				がん末期などの相談が以前よ りも増えているように思いま す。今後も利用についての相談 をさせて頂きたいと思いま す。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシステ ムの構築方針や計画の内容 等について理解している		○			地域包括ケアシステムの関係 者との研修会等では自治会 でも勉強になっており、連携を 図っていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解するこ とが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針 や計画などが無い場合は、「全く できていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○			<p>自治会も独居高齢の要支援者や空き家が多くなり、種々の問題や相談も多い。区役所等の指導を受けて見守りや情報共有。相談、問題解決を図っていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりで きてい ない	全く でき て い ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている			○		在宅での生活の継続のために、必要な指導やアドバイスをお願い致します。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>ご家族へは介護方法の相談や助言・提案を行っている。近隣の方に見守り等、協力いただく場合もある。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>① ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>大半の利用者様は目標達成できていると思うが、達成度合いは個々によって異なる。</p>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感							
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>医療と介護が連携し、医療が必要になっても安心して在宅での療養生活が継続できるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援や受けられているサービスが適切である。 ・何かあった時の相談がすぐできる。 ・将来について、方向性が決められている（納得もしている） ・本人、家族が現状と将来について理解できている。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>これらのことが日々得られていると、「安心感」が持てるのではないのでしょうか？看多機のあり方、目指すべき姿の達成を応援させていただきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します 			
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>ご本人・ご家族の意向に応じ、自宅でも事業所でも安心して看取りができるよう、医療と介護が連携し支援している。</p>	<p>これらのことが日々得られていると、「安心感」が持てるのではないのでしょうか？看多機のあり方、目指すべき姿の達成を応援させていただきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」 			

